

# CASBEE® 名古屋

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE 評価マニュアル (2016年版、4.0版) ■ 使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 錦通桑名町ビル	階数	地上13F
建設地	名古屋市中区錦二丁目1501、1515	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	2,900 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,700 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年10月 予定	評価の実施日	2023年5月17日
敷地面積	2,442 m <sup>2</sup>	作成者	鹿島建設株式会社中部支店
建築面積	1,849 m <sup>2</sup>	確認日	2023年5月17日
延床面積	25,513 m <sup>2</sup>	確認者	鹿島建設株式会社中部支店



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**= BEE3.5** ★★★★★

☆: S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 100%超 ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 60% 30%

標準計算

①参照値  
②建築物の取組み  
③上記+②以外の  
④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境  
Q2 サービス性能  
Q3 室外環境(敷地内)  
LR1 エネルギー  
LR2 資源・マテリアル  
LR3 敷地外環境

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.7

**LR のスコア = 4.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 4.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> ・省エネルギーと環境に配慮したスマートウェルネスオフィスビル。 ・CASBEEウェルネスオフィス: Sランクの取得。 ・ZEB Orientedの取得。		その他
<b>Q1 室内環境</b> ・遮音、吸音に配慮。 ・外皮性能、ゾーン別空調、温度・気流差に配慮。 ・照度500lx。 ・☆☆☆☆材料の使用、換気量確保、給気口と排気口の配	<b>Q2 サービス性能</b> ・高度通信機器対応。 ・天井高確保、リフレッシュスペース、内装計画に配慮。 ・内外装防汚仕上、掃除用流し、共用部からの維持管理	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・外構緑化、屋上緑化。 ・街並みへの調和、植栽による良好な環境の創出。 ・ピロティ、退避施設の設置。 ・排熱機器の屋上への設置。
<b>LR1 エネルギー</b> ・BPI=0.81、BEI=0.50 ・Low-E銀2層ガラス、高効率設備機器の採用。 ・自然換気スリットの設置。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・節水型便器、雨水利用。 ・リサイクル材の使用、躯体と仕上の容易な分別。 ・有害物質を含まない材料、フロン・ハロンの回避。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・CO2低排出率、雨水流出抑制、交通負荷低減に配慮。 ・燃焼機器を使用しない。 ・光害の抑制。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される